

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念が大きく掲示されすずらん稲川の理念が小さく、わかりづらい。	やはり働いている事業所の理念を大きく掲げた方が職員にとっては、より身近な理念となり、目標となる為、そのように替える。	管理者が事業所の理念を模造紙に大きく掲示し、その横に法人の理念を小さめにして掲示する。職員には、ミーティング時に伝え今後も理念の下に介護に取り組むように話す。	0 ヶ月
2	35	地域と連携した非常災害対策の構築を運営推進会議などで検討しながら実践に繋げる。又、住民に避難訓練の参加を呼びかける。	災害時に地域住民に力になってもらえるという事を明確にしたい。現時点では3名の地域の方に緊急連絡網に入っているが、出来ればもっと多くの方に協力していただけるようになって欲しい。	運営推進会議などに於いて話をすすめていきたい。	3～6 ヶ月
3	6	ご利用者の外出時、地域との支え合いによる見守り体制を整備するなどホーム外においても安心、安全な生活環境づくりに努める。	ほぼ毎日、外出される方がいる為、地域とつながりを持って安心、安全を確保していきたい。	運営推進会議などに於いて話をすすめていきたい。すずらん便りを配布してその中に散歩したりする事、伝えていく。	1～2 ヶ月
4	33	ご利用者が重度化した場合に備えて利用開始時の口答における説明だけでは不十分である。	ターミナルケア、重度化に際してのホームの取り組みの仕方をわかりやすく、丁寧に行っていく。	契約書などの書面の整備を行う。	3～6 ヶ月
5	36	入浴や排泄介助時に於いて意思確認をすること。又、経験の浅い職員が不適切な対応がないかユニットごと、検証する。	ご利用者に同性介助に関しての意思の確認をして安心して入浴、排泄がおこなえるように支援していく。	ユニットごとに、ご利用者に聞き取り調査し、ケアに繋げる。	0 ヶ月
6	11	離職により経験の浅い職員が多い。その為、ケアよりも指導に時間を要する。その事が、職員に更に負担となり離職率が高くなる。法人として有資格者の人材確保、育成、研修に関する方針、ビジョンを明確にし、サービスの質の確保に努めてほしい。	現時点に於いては離職する者もおらず、とりあえず人員は確保されている為、ご利用者に対してゆとりのある支援が可能である。各ご利用者にあったサービスの提供を行っていきたい。	1, 2階合同の行事の開催、個人ごとにサービスを提供することができる。ご利用者に対して濃やかな支援を行っていきたい。また、社内、外の新人の研修参加を促していきたい。	1～ ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。